

## 令和7年度第3回上市町総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

日 時 令和7年11月26日（木）午後1時30分から午後3時30分まで

場 所 上市町役場 4階大ホール

出席者 井上委員、岡崎委員、小柴委員、瀬川委員、高島委員、田中委員、野越委員、  
日野委員、平井委員、三輪委員、村上達委員、村上正委員、森委員、安井委員、  
山崎委員、湯上委員、横山正一委員、横山正行委員、吉田委員

欠席者 中田委員

事務局 小竹副町長、牧田教育長、小池総務課長、松本企画課長、黒田財務課長、  
轡田町民課長、黒田福祉課長、碓井産業課長、酒井建設課長、細川議会事務局長、  
廣田かみいち総合病院事務局長、平井教育委員会事務局長

【庶務】企画課企画班：青木課長代理、嘉藤課長代理

【委託先事業者】地域創生 Co デザイン研究所、NTT 西日本

傍聴者 2名（報道関係者）北日本新聞、富山新聞

- 次 第
- 1 開会
  - 2 あいさつ（上市町副町長 小竹 敏弘）
  - 3 審議
    - (1) 第8次総合計画（後期基本計画）策定の進捗状況について
    - (2) 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案について
  - 4 その他
  - 5 閉会

### 事前配付資料

- ・委員（出席者）名簿 ・座席表
- ・資料1 第8次総合計画（後期基本計画）策定の進捗状況について
- ・資料2 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（目次・基本構想）
- ・資料3 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（基本計画【重点施策】（総合戦略））
- ・資料4 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（計画策定の趣旨等）
- ・資料5 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（基本計画【個別施策】つながる）
- ・資料6 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（基本計画【個別施策】にぎわう）
- ・資料7 第8次総合計画及び第3期総合戦略の素案（基本計画【個別施策】ささえあう）

## 議事等

### 1 開会、あいさつ

審議委員 19 名が出席した。司会者の企画課長が開会を宣言した。

副町長があいさつを述べ、本日の審議会は今年度 3 回目であり、計画素案に対して忌憚のないご意見をいただきたい旨述べた。

司会者が、審議会条例により会長が議長となるため、議事の進行を山崎会長にお願いした。

### 2 各審議事項について

議長は、各審議事項や資料毎に事務局に説明を求め、事務局は配付資料に基づき説明した。議長は、その資料説明毎に質疑がないか委員に確認したところ、各審議事項や資料について、次の質疑があった。

#### (1) 審議事項 1 第 8 次総合計画（後期基本計画）策定の進捗状況について

##### <質疑応答>

**委員** 資料 1 について 2 ページ目の総合戦略のアンダーラインが引いている住民幸福度にリーチできるかという観点と記載があるが、「リーチできるか」の言葉の意味がよく分からない。

**事務局** 届くかどうかという意味でリーチという言葉を使っています。住民の皆様の幸福度向上を願って仕事をしているのは事実でも、成果として現実に向上下につながるか、到達できるかどうかという意味での言葉です。

**委員** リーチより今ほど言われた「到達できるかどうか」の方が分かりやすいので、もし変更可能でしたらお願いします。

#### (2) 審議事項 2 第 8 次総合計画及び第 3 期総合戦略の素案について

##### <質疑応答>

##### 資料 2（目次・基本構想）について

質疑なし

##### 資料 3（基本計画【重点施策】（総合戦略））について

**委員** 20 ページの出生数の目標が令和 7 年の 54 人から令和 12 年に 91 人となっている。人口目標はこの出生数を達成しないと届かないということでしょうか。

**事務局** 庁内会議でも議論のポイントとなったところですが、この目標を達成しないと人口ビジョンの目標も達成できないところです。そして、合計特殊出生率から算定するとこの数値に

なるというのが現実でして、改訂版人口ビジョンは、上市町の持続的な運営を考えた場合に2060年に人口1万人を割らないようにと考えるとどうしてもこの目標値となってしまうところですが、もちろん合計特殊出生率からくることがありますので、例えば社会移動など他の要件で目標人口を達成する可能性はゼロではありません。ただ、だからといってそれを踏まえてこの目標値を抑えるのは少し違うというところで、高い目標値ではあるものの91人を目指すということで記載させていただきました。

**委員** ありがとうございます。資料でここが一番驚いた点だったんですが、5年間で1.7倍に増えるというのは、過去多分、全国ほとんどの市町村でそこまで達成できるところはほとんどなかったの、生き方を色々尊重する中でかなり意欲的な目標と感じました。人口目標の達成を主眼に置かれるのであれば、ぜひ1年毎に確認して施策等をアップデートして欲しいなと思っています。

**委員** にぎわう上市は住民だけではなくインバウンドも含めて賑わってこそ上市も賑わうと思います。26ページの具体的な事業の左側に地域活性化起業人事業とありますが、上市駅再開発というような事業を入れた方が良いのではないかと思います。昨日区長会の研修会があり、お客さんが来ても食事するところがないという意見がありました。中心地で京都から転入された方が居酒屋をされるという明るい話題もありますが、温泉地でも駅に地元の土産店がないとがっかりされ再訪の気持ちにならないということがあるらしいので、ぜひ駅の開発を盛り込んで欲しいなと思います。

**事務局** そのような声がたくさんあることは理解していますが、駅自体が地鉄さん、J Aアルプスさんの権利が入り組んでいるような元々の難しさがあるということと、やはり駅を開発、再開発するとなると大変大掛かりなことになるということで、現在学校を1つにしようという大きな目標もあるものですから、課題意識は十分持っているものの、関係者とよく話し合いながらやっていきたいと思っています。幸い、もう少し足を延ばしていただくと、ゲストハウスmetate、その横も開発が進んでいたり、委員がお話された居酒屋もリニューアルオープンされるなど少し明るい話題も出てきています。そのような点で頑張りがながらも、ご意見は課題として認識していきたいと思っています。

**委員** 34ページの上市高校のミライを守る項目の具体的な事業で、「事業所説明会」とありますが、実際には上市高校で「職業を知る会」というタイトルでやっているため、文言を統一した方が良いと思いました。また、「職場体験」も「職場見学」となっていますので、どこかに入れていただければ言語の統一感があって良いのではと思いました。

**事務局** ぜひそうさせていただきます。

#### **資料4（計画策定の趣旨等）について**

質疑なし

#### 資料 5（基本計画【個別施策】つながる）について

**委員** 資料 2 の 12 ページに多様性を尊重した社会づくりの推進として、国籍、人種という言葉の使い分けをどうしているのか。同項目で資料 5 の 70 ページに「女性の就労促進」とありますが、今は性別問わずですし、69 ページの現状と課題についても、言葉が飛び飛びで誰に対しても虐待も偏見もダメだし、誰に対しても人権侵害をしませんということだけでも良いのかなと思ってみておりました。

**事務局** 資料 2 の 12 ページについては基本構想のため変更を加えていない部分ですが、整合性も踏まえて見直しが必要な個所かと思いました。69 ページについても表現の見直しが必要かと思うので、内部で相談して記載のニュアンスを検討させていただきたいと思います。

**委員** 特性のある子どもたちが増えており、人材不足が深刻ですが、そこに対する支援は抜きんでていると思います。保育園側としても相談しやすい。一人ひとりにどう向き合っていくか考える時間がある。資料のまとめ方についてはこのとおりかと思います。

**委員** 資料 62 ページの上市高校性による「上高パン」渡しの写真は、現在やっていない事業ですが、前期計画のものでしょうか。

**事務局** 前期計画の写真をそのまま掲載しており、今後差し替える予定です。

#### 資料 6（基本計画【個別施策】にぎわう）について

**委員** 資料 91 ページのごみのリサイクル率の目標 K P I についてはどのように出しているのでしょうか。

**事務局** 可燃ごみを減らすことを目的とした指標です。ごみの重さをはかります。可燃ごみ全体のごみのうち、リサイクルした重さの割合です。

**委員** 94 ページの地球温暖化問題について、富山県の環境財団から毎年小学 4 年生を対象に、環境チャレンジ 10 という授業を町民が先生となってやっており、ここで紹介していただければうれしいかなと思います。県、財団としては全学校を対象にと考えており来年からそのように実施予定です。

**事務局** 確認してみます。

**委員** 73 ページの施策の内容で「農産特産物のブランド化」の両方を推進と書いてありますが、何かともいうわけではないですし、ここに何か具体的なものを明記しても良いのではと思います。例えば今、シャクヤクの補助金も出してもらい推進しているところですが、富山市は切り花を中心にやっていますが、上市は薬草ということで根っこを推進していきたいという想いもあります。或いは中山間地のショウガ。これはイノシシもなかなか悪さをしないということで始めたものだったと思いますが補助金がありますので、何か具体的なものを記入され

てもいいのではと思います。その後に、サトイモなどは完全に上市ブランドになっていますので、安定生産を支援しますと書いてあるのはいいと思う。これから何をブランドするかを明記するといいと思います。

**事務局** シャクヤクの生産については農家が力を入れており補助金も出して応援している。具体的な名称を出した方がいいということだと理解しましたので、貴重なご意見として内部で検討させていただきます。

#### **資料 7（基本計画【個別施策】ささえあう）について**

**委員** スマホ役場ですが、結ネットで区長配布もしますし、ホームページでも色々情報が見れます。それらを活用するとなると、実際は各町内で配布する紙の量を減らさないと折角やっているスマホ役場の予算が無駄になる感じがするので、その進め方が課題だと思っています。結ネットも3町内会しか入っていないし、何かいい方法を個別に何かできないでしょうか。スマホ役場をつくったのに紙が減らなければ大変と思いますので、何かうまくやる方法を考えていけないでしょうか。

**事務局** 役場の紙をまず減らそうという目標については、DX推進班を昨年から立上げ、今年の目標は紙削減50%を目指しています。役場でもそういう状況なので、結ネットも3町内会であっても紙と併用しているのが現状です。

**委員** そうなんですが、紙を減らしたいという困るという人もいます。スマホ役場のサービスが増えた分、うまくペーパーレスを実施するにはどうするかをうまく考えていかないと。特にお年寄りには難しいようで。

**事務局** 意識改革しかないが、今の若い世代は紙を回すのが面倒になるので徐々にはデジタル化の傾向が強まると思います。

**委員** 概ね住民の要望になりますが、まちの活性化を考えた時に、古民家の利用は現在行われていますが、県外からの移住者をどう取り込むかについて、基本的には人が集まりやすいイベントをPRしながら開催することによって、そこから婚活にも結びついていくのではという意見がありました。今の結婚相談所は社会福祉協議会がやっていますが、担当者が高齢化しており若者の考えとそぐわないので、できるならイベントを開催しそこで集客しながら、人口を増やしていくことに結び付くのではないかとということでした。

次に、子どもの話になりますが、部活動の受け入れ停止に伴う、受け入れ先の充実を考えて欲しいということです。遊ぶ機会が減り、子ども達の体力、体幹が弱っており、授業に集中できない子が増えています。学習室もそうですが、スポーツジムやスポーツ教室などをご検討頂ければ子どもたちの遊び場にもつながります。子どもたちが家に閉じこもってパソコンやゲームばかりやっている状態だと体幹も衰えるので、何か考えていただけると嬉しいということです。

次に、新しい小中一貫校に保育所も連携されたらという住民意見もありました。

**事務局** 教育委員会でも、公民館で色々と子ども達が遊んで学べるようにもっていこうということを模索しています。子どもが寄り合うことで大人も一緒にということもあり、その中の一つでeスポーツにも身体を使うものもあります。先日も大会があり、体を使うものもあるので、そういうのもいいのではと思っています。

結婚の話は難しいところがあり、若い人の感覚が変わってきていることもあります。結婚結婚と構えるというより自然と交流するイベントをしつつ、その中からカップルにというのが今風らしく、そのようなことは大切にしていったら良いかと思っています。

**委員** 資料 70 ページで、他の委員もご発言されていましたが、女性の就労促進の記載について書かれていることに違和感がありました。女性に働き、育児もし、介護もしろと言っているように感じたので、書きぶりについては検討いただけたらと思います。

**委員** 41 ページの社会的潮流のところ、最近はクマの人身被害が深刻化しており、今後も予想されるようですので、イノシシもでしょうけどその点を加えた方が良いのではないかと思います。また、あまり女性・障害者・高齢者など文言を決めつけない方が良いと私も思います。しかし、21 ページの「こどもから若者、子育て世帯までの切れ目のない支援」の中で、病気や事故で障害を持つことになったお子さんへの支援は健常者のお子さんとは違う支援が必要になると思いますが、そのあたりの記載はありますでしょうか。

**事務局** まず、資料 4 の 42 ページにイノシシとクマについての記載がありますが、クマを先に記載するよう優先順位を変えさせていただきます。

**事務局** 障害を持ったお子さんについては、23 ページの「インクルーシブ教育の推進」の具体的な事業に発達相談・支援の充実をあげています。

**委員** 具体的にどのような内容でしょうか。

**事務局** 今時点で既に行っていますが、5 歳児健診を新たに始めています。出生から 5 歳児健診の間でも検診はありますが、できるだけ発達障害などの早期発見に努めており保健師が寄り添い相談につなげていく内容です。5 歳児健診は小学校進学につながる大切な検診と思っており、進学の際の困難さがある場合はそれぞれ支援につなげています。

新聞にも取り上げていただいたことがあります。ディスレクシア対応は、小学校就学時に検査を受け、識字障害への対応ということで進めているところがあります。その他、個別相談によって、支援学校であるとか、就学先の相談をしており、一人一人の個性にあった教育環境を保護者の方と一緒に考えていけたらと思っています。

また、資料 5 の 58 ページにも関係機関が連携し、障害の早期発見・早期対応に努め、乳幼児期から、就学、進学、就労等への継続的な支援体制の確立を図るという形で、こちらの方も切れ目のない支援というようなことを記載をさせていただいているところです。

### 3 その他、閉会

事務局は、次回の審議会を1月30日に予定していることをお知らせし、日程調整への配慮をお願いした。

司会者は、以上をもって次第を終了した旨を述べ、閉会を宣言した。